

新着案内

NO. 6
2018年3月
伊丹西高校図書館



『百年泥』(石井 遊佳)

【第158回芥川賞受賞作品】

チェンナイ生活三か月半にして、百年に一度の洪水に遭遇した私。綴られなかった手紙、眺められなかった風景、話されなかったことば。洪水の泥から百年の記憶が蘇る。魔術的でリアルな新文学。『新潮』掲載を単行本化。

『おらおらでひとりいぐも』(若竹 千佐子)

【第158回芥川賞受賞作品】

「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。『文藝』掲載を単行本化。



『銀河鉄道の父』(門井 慶喜)

【第158回直木賞受賞作品】

岩手県をイーハトヴ(理想郷)とし、銀河に鉄道を走らせた宮沢賢治。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父・政次郎との対立と慈愛の月日を、父の視点から描く。



『掟上今日子の色見本〜忘却探偵シリーズ〜』(西尾 維新)

掟上今日子が誘拐された。突然の脅迫電話を受けた、置手紙探偵事務所唯一の従業員・親切守は、手探りで捜査を開始する。一方、今日子は犯人のもとで目を覚ます。忘却探偵シリーズ第10弾。

『他に好きな人がいるから』(白河 三兎)

彼女は、重力を無視するかのよう、ふわりと僕の前に降り立った。それが白兎のマスクを被った君との、初めての出逢いだった。ひりつく痛みと愛おしさが沁み渡る青春恋愛ミステリー。



『わたしをみつけて』(中脇 初枝)

施設で育ち、今は准看護師として働く弥生は、問題がある医師にも異議は唱えない。なぜならやっと得た居場所を失いたくないから。その病院に新しい師長がやってきた。『きみはいい子』と同じ町を舞台に紡がれる、明日にたしかな光を感じる物語。

『リセット 11』(如月 ゆすら)

リュシオンにかかった呪いを解くべく、引き続き禁呪使いを追うルーナたち。リカール王国の兵士や部族たちとも協力し合うものの、敵は巧妙な罠を張り巡らせていた。異国の禁術使いを追うルーナに再び危機が!? 緊迫の第11巻!



『ブラタモリ 12 別府 神戸 奄美』(日本放送協会)

NHKの人気街歩き番組「ブラタモリ」の、本編では語り切れなかったエピソード、ロケの撮影風景の特別写真、街歩きに便利な地図などを掲載。12は、別府、神戸、奄美の旅を収録する。

『神様のカルテ 0』(夏川 草介)

シリーズ300万部突破のベストセラー『神様のカルテ』にまつわる人々の前日譚であり、かつ珠玉の短編集。医師国家試験直前の一止とその仲間たちの友情、本庄病院の内科部長・板垣(大狸)先生と敵対する事務長・金山弁二の不思議な交流、研修医となり本庄病院で働くことになった一止の医師としての葛藤と、山岳写真家である一止の妻・榛名の信念が描かれる。



『九十歳。何がめでたい』(佐藤 愛子)

人間は「のんびりしよう」なんて考えてはダメだということが、九十歳を過ぎてよくわかりました。御年九十二歳、もはや満身創痕の佐藤愛子が、ヘトヘトでしばり出した怒りの書。『女性セブン』連載を書籍化。



『バースデーカード』(吉田 康弘)

紀子がママと過ごす最後の年になってしまった誕生日、ママは約束した。それは紀子たち姉弟が20歳を迎えるまで毎年バースデーカードを贈ること。母がいない誕生日、本当にカードが届く。2016年10月公開映画の原作。

『アクセル・ワールド 22 絶焔の太陽神』(川原 礫)

黒のレギオンと白のレギオンの戦いは熾烈を極め、結果として敗北に終わってしまったハルユキ。しかし、1枚のリプレイカードが土壇場で起死回生のプランを生み出す。そして白のレギオンを問い詰めんと七王会議に向かう。



『レイン 15 攻勢に出る』(吉野 匠)

上將軍レインは、魔族による無差別攻撃を止めるために、魔族軍の指揮官であるミライに狙いを定めた。彼女を捕らえて人質とし、魔王と直接交渉をするために、ミライがいるクリスタルパレスへ奇襲をかける。見返しに地図あり。

『小説の言葉尻をとらえてみた』(飯間 浩明)

小説の筋を追うだけでなく、その中の日本語に注目すると、ことばの思いがけない面白さに気づく。「三省堂国語辞典」編集委員のガイドで、物語の中で語られることばの魅力に迫る、異色の小説探検。



『ピンポールの女王』(尾崎 将也)

ADを辞め、ネットカフェ難民となった麻衣子が、立てこもり事件に巻き込まれた。全国中継で犯人が予想外の要求をしたことと、麻衣子がツイッターで状況をつぶやいたことから、「大炎上」が始まる!

『王家の紋章 24』(細川 知栄子)

『弱虫ペダル 54』(渡辺 航)

※ 皆さんからのリクエストを受け付けています!

新着案内

NO. 6
2018年3月
伊丹西高校図書館

～歴史～



『エリザベス女王 女王を支えた側近たち』(青木 道彦)

イングランドの女王として君臨したエリザベス1世。窮地に追い込まれそうな場で女王を助けたのは有能な側近たちであった。無敵艦隊を破り、大英帝国への道を幕開けた女王と側近たちの動向をたどる。

『ナポレオン 英雄か独裁者か』(上垣 豊)

ヨーロッパがフランス革命の激動に揺れるなか、登場した青年将軍ナポレオン。近代世界の揺籃期における「英雄」の事業を、近年の研究によって明らかになった歴史的背景のなかでとらえ直す。



『偉人はそこまで言ってない。 歴史的名言の意外なウラ側』(堀江 宏樹)

ガガーリンの「地球は青かった」も、龍馬の「日本の夜明けぜよ」も、本人が言った言葉ではない!? 印象的な歴史的名言が生まれた意外な背景とともに、偉人たちの新たな一面に迫る。

～自然科学～

『どうして高校生が数学を学ばなければならないの?』(大竹 真一)

難問、「何のために数学を勉強するのか」は解けるのか?! 数学教育や生態人類学、物理学理論などを専門とするさまざまな分野の執筆陣が、高校生に向け「数学を学ぶ」ことについて論じる。



『地球は本当に丸いのか? 身近に見つかる9つの証拠』(武田 康男)

当たり前なのに、なかなか実感できない「地球が丸い」ということ。でも風景や空の現象の中に、地球が丸い証拠はたくさんある。「水平線がはっきり見える」「空に地球の影が見える」等、丸さの証を美しい写真とイラストで紹介。

『カラスと人の巣づくり協定』(後藤 三千代)

カラスの巣を減らすには、「撤去」ではなく「設置」が鍵だった! 30年に及ぶカラスの生態研究を通して、カラスと人が共生する優しい社会を作り出す画期的な方法を示す。



～絵本～

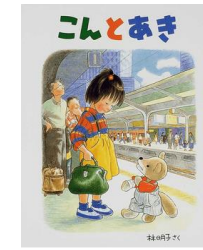


『どうぞのいす』(香山 美子)

うさぎさんが作った椅子をめぐって次々に繰り広げられるとりかえっこ。「どうぞ」にこめられたやさしさが伝わってくるロングセラー絵本。

『くれよんのくろくん』(なかや みわ)

ちいさくてしろいくれよんが、仲間とはぐれてしまいました。くろくんたちが仲間を探しますが、見つかりません。しろくんをなぐさめようと、大きなまっしろい画用紙に絵をかくことに。くれよんのくろくんシリーズ第4弾。



『こんとあき』(林 明子)

赤ちゃんの「あきちゃん」のために、おばあちゃんからつかわされたのがきつねのぬいぐるみ「こん」です。ふたりはいつでも一緒ですが、あきちゃんが大きくなるにつれ、こんはどんどん古びていきます。そしてとうとう腕がほころんでしまいました。

～その他～



『わかる! 取り組む! 災害と防災 1 地震』(帝国書院)

【第19回学校図書館出版賞受賞作品】

自然災害を正しく理解し、防災に対する見方・考え方を育むための本。第1巻では、地震が起こるしくみをわかりやすく解説し、災害の様子を具体的に紹介する。防災対策や、各地で行われている実践例なども収録。

『世界のかわいい村と街』(パイインターナショナル)

プロヴァンスの鮮やかなピンクの村(フランス・ルシヨン)、花いっぱいロマチックな街(ドイツ・ゲンゲンバッハ)。世界中に残る小さくてかわいい村や街を紹介します。おとぎ話に出てきそうな、かわいい村めぐりが楽しめます。



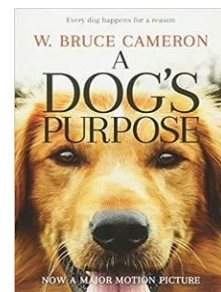
～キミも英語多読に挑戦しよう!～

★多読とは?

やさしすぎるくらいの本から始めて、読む楽しさを味わいながら、とにかくたくさん本を読むことで、英文が読めるようになります。ゆっくりでもいいので、すこしずつ始めていきましょう。

『A Dog's Purpose』(W. Bruce Cameron)

兄弟姉妹に囲まれ、野良犬としてこの世に生を受けた僕。生まれ変わり、少年イーサンに引き取られ、ベイリーと名づけられる。イーサンと喜びも悲しみも分かち合って成長した僕は、歳を取り幸福な生涯を閉じる。ところが、目覚めると、今度はメスのエリーになっていた! 日本語訳版「僕のワンダフルライフ」。



『Kitchen Table Wisdom: Stories that Heal, 10th Anniversary Edition』(Rachel Naomi Remen)

現代医学が客観性、有効性、患者との距離の重要性について強調するあまり、医師は人間としての感情や魂や直感等を押さえて、患者とともに傷ついている。難病の医師が物語に見出した、生きる力に溢れた癒しへの道とは何か。日本語訳版「失われた物語を求めて」。

